

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	セラビアンZ R : フォーミンググリキッド
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	歯科用陶材の関連付属品
整理番号	824-220000FL

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない
健康に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない

シンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
精製水	70-90	7732-18-5	対象外	非該当	非該当	非該当	非該当
ポリエチレングリコール	5-30	25322-68-3	7-129	非該当	非該当	非該当	非該当
その他(添加剤)	<5	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいさせる。 気分が悪いときは医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診察/手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに流水で15分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
応急処置をする者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤	特になし
特有の消火方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。 初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護	呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具および緊急措置	作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項 回収・中和	流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	安全取扱い注意事項	『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の適切な保護具を着用する。 皮膚に付いたり、粉塵、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。火気に注意する。 密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行う。 酸化剤と接触させない。 使用前に添付文書及び取扱説明書をよく読む。 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。
保管	保管条件 容器包装材料	直射日光を避け、冷所に保管する。 オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	日本産業衛生学会 情報なし ACGIH 情報なし
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
保護具	呼吸用保護具 必要に応じて防毒マスクを着用する。 手の保護具 必要に応じて不浸透性保護手袋をする。 眼、顔面の保護具 必要に応じてゴーグル型保護眼鏡をする。 皮膚及び身体の保護具 情報なし
衛生対策	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	透明色
臭い	なし
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし

水	ホリエチレングリコール : 自由に混合
有機溶剤	ホリエチレングリコール : アセトン、エタノール、ベンゼンに易溶
n-オクタノール/水分係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.0 g/cm ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	CO、CO ₂

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性	
経口	情報なし
経皮	情報なし
吸入	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし
呼吸器感受性	情報なし
皮膚感受性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	ホリエチレングリコール : 微生物などによる分解性が良好と判断される物質である。 56.2% by BOD
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	可燃性溶剤と混合して、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。 廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。 容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報：IMOの規定に従う。
UN No.：-
Proper Shipping Name：-
Class：-
Packing Group：-
航空規制情報：ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.：-
Proper Shipping Name：-
Class：-
Packing Group：-

国内規制

陸上輸送情報：該当する法律に従う。
海上輸送情報：船舶安全法に従う。(IMOに準拠)
航空輸送情報：航空法に従う。(ICAOに準拠)

特別安全対策

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
直射日光を避けて輸送する。

緊急時応急措置指針番号

—

15. 適用法令

化審法	特段規制なし
安衛法	非該当
化管法(PRTR法)	非該当
毒劇法	非該当
消防法	第4類 第三石油類 水溶性 危険等級Ⅲ：ホリエチレングリコール
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
じん肺法	非該当
大気汚染防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
海洋汚染防止法	施行令別表第1有害液体物質(Z類)：ホリエチレングリコール

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。